

## 米の輸出について

平成20年 1月22日

## 1 経営面積

15.98 ha

## 2 海外輸出の目的

このまま国内での米価下落が加速すれば、借用がある農業法人や経営規模の大きな専業農家が大打撃を受けると思い、何か手だてはないかと考えた結果、海外輸出に至りました。

現在は輸出量も順調に伸びており、今後も増やしていきたいと考えております。

また、将来の後継者に職業として農業の魅力を感じてもらえれば良いと考えております。

## 3 現在までの成果

- 1) 平成16年までは大豆により生産調整を達成してきたが、17年から消費純増策等を実施する事で全水田面積に主食米を作付けしながら生産調整の達成が出来ている。
- 2) 消費純増策等により国内需要に影響を及ぼさずに米の生産量を増やす事が出来ている。
- 3) 海外に販路を築く事で国内の米価下落は経営に大きく影響していない為、現在は品目横断的経営安定対策に加入する必要が無い。
- 4) 以前より所得が向上している。
- 5) その他

## 4 輸出実績(台湾)

平成17年産... 2.4精米トン

平成18年産... 1.7精米トン

## 5 計画(台湾)

平成19年産... 2.2精米トン (契約中)

平成20年産... 1.25精米トン (1月5日現在の計画)

新潟県 玉木修  
以上